

---

文部科学省認可通信教育

---

# レポート課題集

1 年次入学者用

**2021**

---



東北福祉大学 通信教育部  
TOHOKU FUKUSHI UNIVERSITY



# 『レポート課題集』2021 1年次入学者用

2021年度入学者に配付されるのは、『レポート課題集1年次入学者用』（本冊子）と『レポート課題集B・C』の3分冊です。『レポート課題集A』は使用しませんので配付いたしません。

## 目次

### ■レポートのルール

- I レポート学習とは ……p.2
- II レポート提出上のルール ……p.4
- III レポート提出台紙の使用方法 ……p.8
- IV 客観式レポート 解答・提出上の注意 ……p.10
- V レポート課題集の活用方法 ……p.11

### ■科目ページ

ページ	科目名	配当年次	科目単位	履修方法	スクーリング単位	指定科目	
						社福	精保
p.14	福祉心理学	1年以上	2	RorSR	1	●	○
p.20	社会学と社会システム	1年以上	2	RorSR	1	●	○
p.24	高齢者福祉	1年以上	2	RorSR	1	●	-
p.28	障害者福祉	1年以上	2	RorSR	1	●	○
p.34	児童・家庭福祉	1年以上	2	RorSR	1	●	-
p.38	介護論	1年以上	2	RorSR	1	-	-

※2021年度のスクーリングは、決定次第『試験・スクーリング情報ブック』他、機関誌『With』や通信教育部HPにてご案内します(今後の状況により変更となる可能性も場合がありますが、その場合も同様の方法でご案内します)。



# レポートのルール

## I レポート学習とは

レポート課題に対し、教科書や参考図書等をもとに解答するもの。

※履修方法「R」および「SR」で科目単位を修得するために必ず取り組むものです。

### レポートの種類

- ・客観式レポート ○×式や選択肢式にて解答するレポート。
- ・論述式レポート 論述式で解答するレポート。

### レポート学習の進め方

- ・客観式レポート 教科書を読んで学習し、設問に解答する。
- ・論述式レポート レポート課題の意図に沿って、教科書を読み、必要に応じ参考図書、新聞、インターネットなどで調べ、そして自分で考え（考察し）ながら、学んだ内容や解答を文章で作成する。

### レポート課題

(1) 『レポート課題集』、『客観式レポート集』に、各科目毎に掲載されています。

(2) 課題数は、科目毎に単位数分あります。

(例) 科目単位 2 単位の科目 → 2 課題。 ※一部の科目に例外あり。

### レポートの評価

レポートの成績は、「優」「良」「可」「再提出」の4段階（優・良・可が合格、再提出が不合格）。

## 不正レポートの禁止

- (1) 不正レポートと見なされた場合は、懲戒処分の対象となります（一定期間のレポート提出禁止、合格済みレポートの合格取消し等）。
- (2) 他のレポートと同一または酷似のものは不正レポートと見なします。  
※学生同士のレポートの貸し借りやデータのやりとりは禁止です。  
※不正レポートと見なした場合、貸した方も処分対象になります。
- (3) 教科書・参考図書・インターネット等から無断での丸写しは不正レポートと見なします。  
※「引用」・「要約」の場合を除く（『学習の手引き』の「引用と要約のルール」参照）。

## II レポート提出上のルール

### 提出可能科目

- ・履修登録している科目
- ・レポートがまだ合格していない科目

### 論述式レポートの字数

- ・1課題あたりの字数：2,000字程度（最低1,000字、最高3,600字）
- ・パソコン印字（40字×30行）の場合3枚以内、手書きで指定原稿用紙（600字詰）の場合は6枚以内、市販原稿用紙（400字詰）の場合は9枚以内。

※上記以外は受け付けられずに返却されます。

※字数には課題文や「引用・参考文献」、空きマスも含めます。

※一部の課題で、4,000字等の指定があります。

### 論述式レポートの書式

#### (1) パソコン印字・手書きに共通の書式

- ① 用紙は縦置き、文字は横書き。
- ② インクは黒色（消せるインクのペンや鉛筆等は使用不可）。
- ③ 各課題の1行目に、「科目名 ○単位め 学籍番号 氏名」を記入。
- ④ ③の下1行あけて課題文を、その下1行あけて解答文を記入。
- ⑤ 文頭および改行後の先頭は、1文字分あける。
- ⑥ 最下部中央に、全ページ通しのページ数を記入。
- ⑦ 完成したレポート用紙は、上部をレポート提出台紙へ正しくしっかりとのりづけする。

#### (2) パソコン印字の書式 ※上記（1）もご参照ください。

- ① A4サイズ白無地用紙を使用（ご自身でご用意ください）。
- ② 1枚あたりの字数：1,200字
- ③ 文字サイズ10.5ポイント 左右40字×タテ30行  
余白（上下左右）30ミリ
- ④ 片面印刷でプリントアウト（両面印刷不可）。

#### (3) 手書きの書式 ※上記（1）もご参照ください。

- ① A4サイズ原稿用紙を使用（ご自身でご用意ください）。

※下記のいずれでも可。

- ・指定原稿用紙（本冊子巻末の原稿用紙をA4判に拡大コピーしたもの、または通信教育部HPよりプリントアウト〔両面コピー、印刷不可〕）
- ・市販原稿用紙

- ② 1枚あたりの字数：600字（指定原稿用紙）or400字（市販原稿用紙）
- ③ 句点（。）、読点（、）、括弧「 」などは1マスを使用。
- ④ 行の最後に、句点（。）、読点（、）、括弧「 」などが来た場合は、その行末のマス内（orマス外）に記入。
- ⑤ 数字は1マスに2ケタずつ左詰めで記入。（例）

36	5	日
----	---	---

## レポート提出台紙

- (1) 作成したレポート用紙を貼り付けて提出する台紙。  
※提出後、教員からの添削や評価が記入され返却されます。
- (2) 年度始めに20冊送付（無料）されます（4年次まで）。
- (3) 追加の購入方法。  
**郵送にて**：「レポート提出台紙・教材購入申込書」(巻末様式10) と、代金分の定額小為替証書を通信教育部に送付。1セットあたり10冊のセット購入。  
**通信教育部事務室にて**：現金にて、1冊からの購入可能。

## レポート提出時の注意事項

- (1) レポート提出台紙1冊につき、2課題ずつ貼り付ける。
  - ・2単位科目：1冊に1・2単位めレポート用紙を貼り付ける。
  - ・4単位科目：1冊に1・2単位めレポート用紙を貼り付け、もう1冊に3・4単位めを貼り付ける。  
(例外)
    - ・1単位分ずつの提出が指定されている場合
    - ・1単位分のみ「客観式レポート」をWeb版で解答した場合
    - ・1単位分のみ「再提出」となった場合
- (2) 提出の際は、レポートのコピーやデータを手元に残すこと。  
※郵便事故等の紛失時に再提出していただくため。
- (3) レポート提出台紙には、15円分の切手を2箇所（提出用・返信用）に貼付し、必要事項を記入する。  
※通信教育部事務室等で直接提出する場合は、返信用にのみ切手貼付。
- (4) 提出したレポートの教員添削依頼は『試験・スクーリング情報ブック2021』1部「レポート受付締切日」の翌日に行います。

## レポートの再提出

評価が「再提出」の場合、教員からの講評を踏まえ、再度レポートを作成・提出してください。

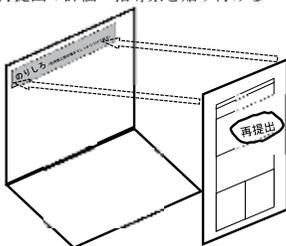
### 【再提出の方法】

- (1) 「再提出と評価された評価・指導票」を切り取る。
- (2) レポート提出台紙の「再提出の場合の評価・指導票貼付のりしろ」に、「再提出と評価された評価・指導票」を貼り付ける。
- (3) あらためて作成したレポートを、新規のレポート提出台紙の「評価・指導票」ウラ「のりしろ」に貼り付け、郵送する。

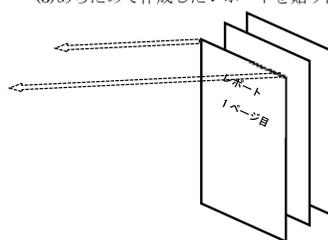
(1)再提出の評価・指導票 A を切り取る



(2)再提出の評価・指導票を貼り付ける



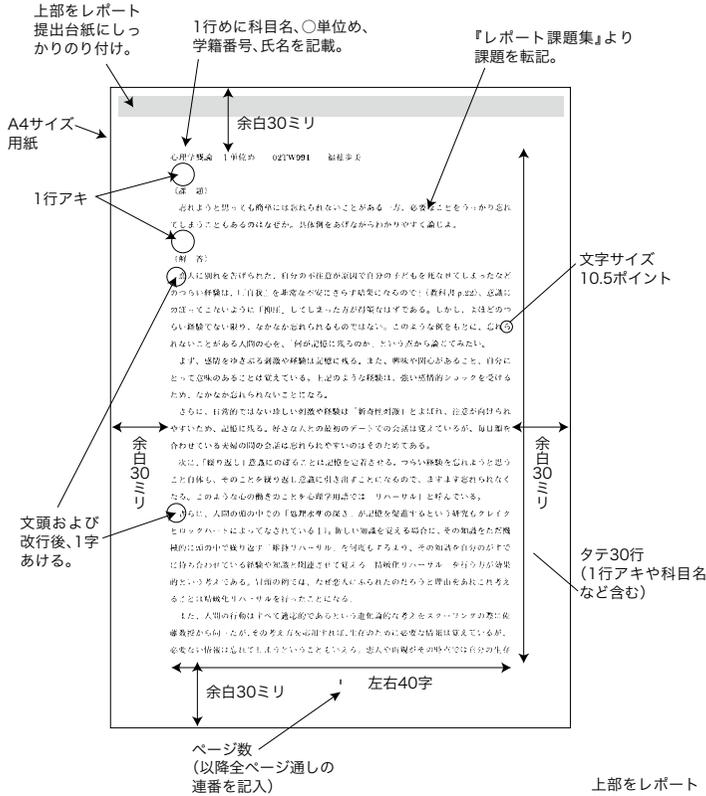
(3)あらためて作成したレポートを貼り付ける



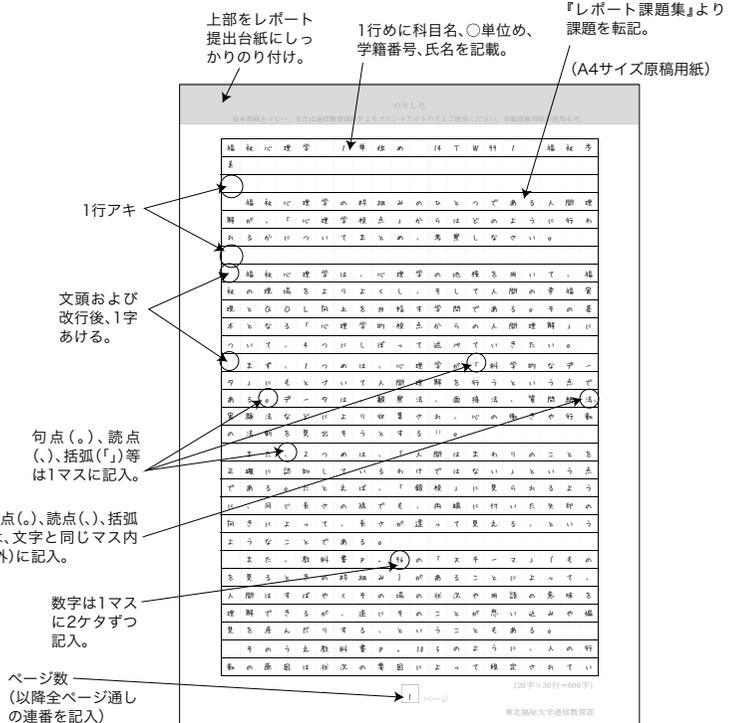
書式の不備や字数不足の場合、受け付けせず返送いたしますので、ご注意ください。

# 論述式レポート書式【作成・記入例（1ページ目）】

(パソコン印字用)



(手書き用)



# III レポート提出台紙の使用法

## ■レポート提出台紙【記入例】

(提出用面)

提出用

10円  
5円

9 8 3 8 5 1 1

文部科学省認可通信教育

仙台市宮城野区榴岡2丁目5番26号

**東北福祉大学通信教育部**

レポート係 御中

科目名 **教育の歴史と思想** 演習・実験・実習  
科目の担当教員 (講義科目は不要) \_\_\_\_\_ 先生

住所 (〒981-8522) 仙台市青葉区国見1-8-1

氏名 **福祉 歩美** 学籍番号 **09TZ999**

封をする前にもう一度確認してください。  
 1 整理票に学籍番号、氏名、科目名、課題番号(何単位めのレポートか)を記入していますか。  
 2 返信用表紙に返信住所を記入し、返信切手を貼付していますか。  
 3 提出用表紙に必要事項(上記)を記入し、切手を貼付していますか。  
 4 解答記載のA4判用紙の貼り方はまちがっていませんか。

(返信用面)

返信用

10円  
5円

9 8 1 8 5 2 2

文部科学省認可通信教育

住所 仙台市青葉区国見1-8-1

氏名 **福祉 歩美** 様 (訂正不要)

■発信者  
〒983-8511  
仙台市宮城野区榴岡2丁目5番26号  
**東北福祉大学通信教育部**  
レポート係

15円分の切手貼付

各欄に所定の内容を記入

提出前にチェックしてください。

### (評価・指導票・整理票面)

教員記入欄です。何も書かないでください。

年齢・職業の記入は任意(自由)です。

学籍番号・氏名・提出する科目コード、科目名を記入該当する課題番号を○で囲む。

ここに氏名・バーコードを貼付してください。

再提出の場合は○で囲む。

講評・指導票		単点(何単位め)	
評価・指導票 1 or 3単位め  2 or 4単位め	1 or 3単位め 評価	優	良
	2 or 4単位め 評価	優	良
教員はこの面から読んでいきます。この紙をめくったところがレポート1ページ目になるように貼り付けてください。レポート下部にページ数を入れてください。		1 or 3単位め 評価	2 or 4単位め 評価
年齢 42歳 職業 特別養護老人ホーム勤務 学籍番号 09TZ999 氏名 福祉 歩美 科目コード AH1037 科目名 教育の歴史と思想 課題番号 ①・②・③・④ 再提出回数 1・2・3・4・5		1 or 3単位め 評価	2 or 4単位め 評価
整理票 再提出の場合は○で囲む。		優	良

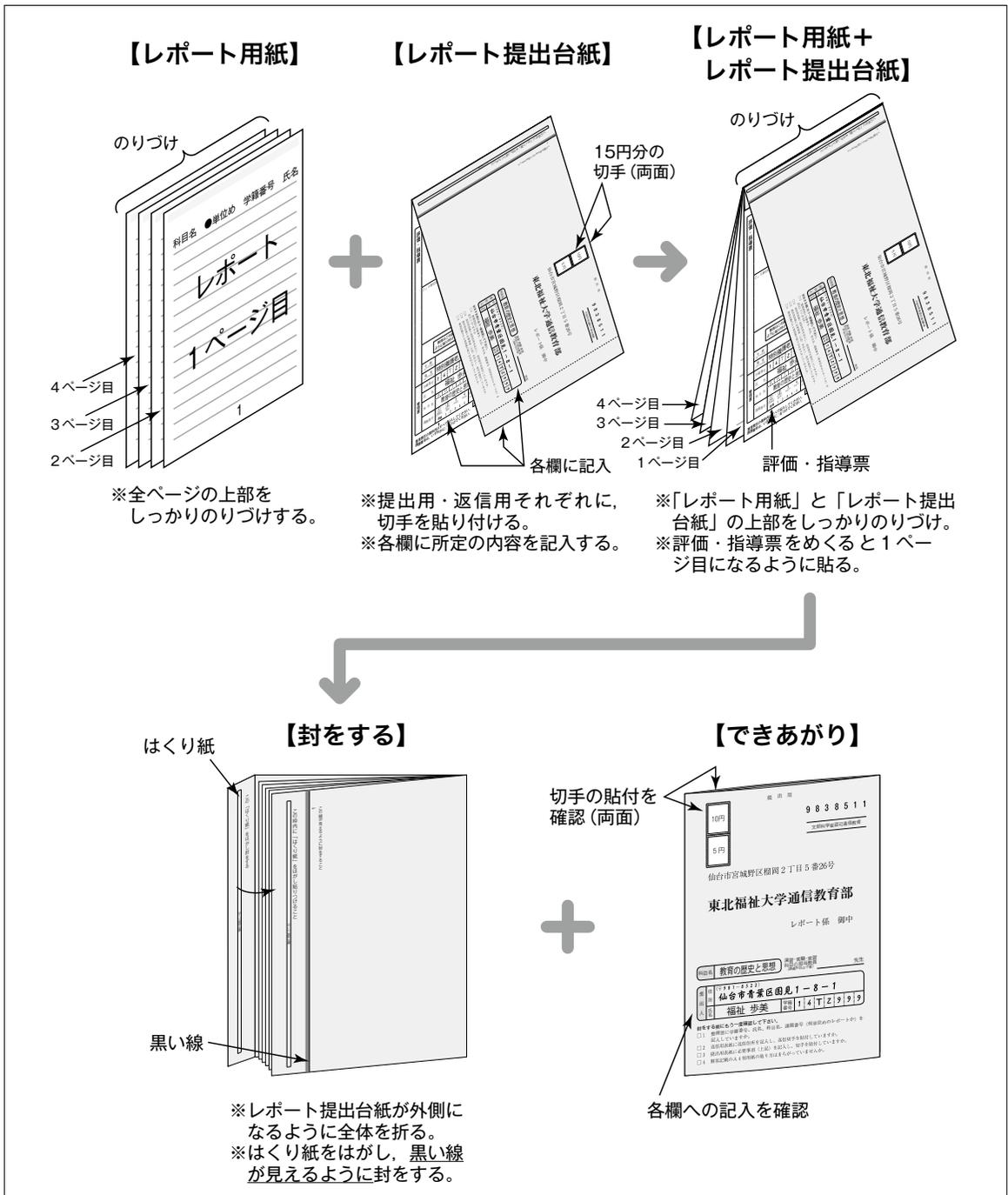
氏名がバーコードを貼付してください。

再提出レポートの場合は前回の評価・指導票裏面の「のりしろ」に貼付してください。

再提出の場合、ご注意ください。

# ■レポート提出台紙【封の仕方】

※レポート提出台紙の「評価・指導票」ウラ面も参考にしてください。



## IV 「客観式レポート」 解答・提出上の注意

- **問題形式** 客観式（○×式、選択肢式、穴埋め式など）・郵送版では、一部論述式の問題が入ることがあります。
- **解答方法** 下記①②のいずれかにて解答・提出してください。
  - ① **Web版**：「TFU オンデマンド」上で解答 ←※**推奨**
    - ・初めて取り組む場合は「初期設定」を行ってください。
    - ・手順は、「TFU オンデマンド」にログイン→「セミナー」より課題選択→解答→採点→解説にて復習。
    - ・解答中に離席する際、「一時保留」ボタンを押す（無操作が60分以上だと最初からやり直し）。その他、エラーの対処方法は『学習の手引き』参照。
    - ・解答は何度でもチャレンジ可能。合格基準は8割以上の正答とします。正解や関連した解説もわかります。
    - ・解答開始日 4～6、9～11月 履修登録が10日までに行われた科目は15日17時まで、25日までに行われた科目は30日17時まで開始。  
7～8、12～3月 履修登録が25日までに行われた科目は30日17時まで開始。
    - ・合格した課題については、「Web 客観式レポート評価登録日」（『試験・スクーリング情報ブック 2021』カレンダー参照）に Web 履修状況票に反映されます。
  - ② **郵送版**：『客観式レポート集』より、問題・解答用紙をコピーのうえ解答・提出。
    - ・解答後、提出前に必ずコピーを取ってください。
    - ・合格基準は、教員によります。解答の指導にあたって、誤答の指摘にとどめ、正解は提示しないことが多くなります。

# V 『レポート課題集』の活用方法

## 科目名・担当教員名など

### ●単位数

単位修得方法にそって、レポートや試験が合格すると得られる、科目ごとに定められている単位数について、法令では1単位あたりの学習時間は45時間（2単位科目90時間・4単位科目180時間）と定められています。

通信教育部では、①教科書や参考文献を読んだり調べたりする時間、②学習内容について理解する時間、③レポートをまとめる時間、④スクーリングを受講する時間とその予習復習の時間、⑤科目修了試験の学習時間・試験時間などを確保して学習を進めていってください。

### ●履修方法

各科目の単位修得方法を記載しています。「R：レポート+科目修了試験」「SR：スクーリング+レポート」「RorSR：RかSRを自分で決める科目」「S：スクーリングのみ」となります。『学習の手引き』2021版・2020版・2019版・2018版 p.14、2017版 p.12、その他の版は p.4（または p.2）で確認ください。

履修方法=Sの科目については、レポート課題はなく、教科書もないものが大半です。スクーリング事前学習・スクーリング受講・スクーリング事後学習により、1単位あたり45時間の学習時間を確保するようにしてください。

### ●配当年次

履修登録・学習ができる年次を記載しています。たとえば、「1年以上」と記載のある科目は、1年生以上（2～4年生含む）の方が履修登録できます。

### ●担当教員

主としてレポート添削指導をおこなう教員名を記載しています（S科目はスクーリング担当教員）。スクーリング担当教員は受講会場により異なる場合があります。なお、一部科目のレポートは添削指導員が担当する場合があります。

また、担当教員が科目に関連する実務経験を有する場合は、「科目の内容」欄に表示しています。

## 科目の概要

### ●到達目標

各科目の学習を通じて、身につけてほしい目標を記載しています。意識して学習を進めてください。

### ●教科書

レポート学習やスクーリング時に使用する教科書を記載しています。在学中に変更になる場合もありますので、今年度学習するにあたり必ずご確認ください。

#### 【スクーリング時の教科書について】

教科書が変更された科目について、通常変更後2年間は、変更直前の教科書を所持している方に対し、必要に応じて配慮をいたします。

教科書が変更されて2年以上経過した科目について、スクーリング時に新規教科書の所持が求められたり、事前学習において新規教科書が必要とされる場合、所持していない方は事前に購入などをお願いいたします。

なお、通信教育部へ購入を申込む場合は、本冊子巻末の「教材購入申込書」をご利用いただき、事前に郵送で、料金分の定額小為替も同封のうえ余裕をもってお申込みください。当日の購入は原則としてできません。本冊子巻末の「教材購入申込書」に記載のない教科書の料金はお問い合わせください。

### ●「卒業までに身につけてほしい力」との関連

各科目の学習を通じてとくに伸ばしてほしい点を、社会福祉学科・福祉心理学科の「学位授与の方針＝ディプロマポリシー」にあげられた「卒業までに身につけてほしい力」との関連で記載したものです。

### ●科目評価基準

評価するにあたり、評価の計算方法を記載しています。

2018年度以降の科目評価の算出方法は次の通りです（入学年度により計算方法が異なります）。

## ■2014年度以降入学者の評価計算方法

計算上、「優」「良」「可」などの評価を4点満点で得点換算し、『レポート課題集』記載の評価割合で計算されます。

### ◇レポート評価

評価	優	良	可
レポートの得点換算	4	2	1

※レポート評価に、「秀」はありません。

### ◇スクーリング評価 or 科目修了試験

評価	秀	優	良	可
試験の得点換算	4	3	2	1

### ◇科目評価の計算式

例) 科目評価基準が、レポート a% + スクーリング試験 or 科目修了試験 b% の場合 (a% + b% = 100%)

$$\text{科目評価得点} = \frac{\sum ((\text{レポートの得点換算の合計}) \times a\%)}{\text{レポート課題数}} + (\text{試験の得点換算}) \times b\%$$

### ◇科目の評価

科目評価得点	4.0	4.0未満～2.5以上	2.5未満～1.5以上	1.5未満～1.0以上
科目評価	秀	優	良	可
100点満点換算	100～90相当	89～80相当	79～70相当	69～60相当

※2017年度以前の単位修得科目の評価にも「秀」が加わります。2017年度以前の単位修得科目の科目評価の計算方法は、『レポート課題集2017』記載のとおりです（上記の方法では計算されません）。

※100点満点換算は「秀」「優」「良」「可」の位置づけの理解のために、参考に記載しております。

## ■2013年度以前入学者の評価計算方法

計算方法は2014年度以降入学者と同じですが、2013年度以前の入学者に「秀」の評価はつきません。

## スクーリング

### 【会場によって担当教員が異なる科目】

会場により担当教員が異なる科目があります。会場ごとの講義概要を記載していますので、スクーリング受講前に必ずご確認ください。

### 【オンデマンド・スクーリングおよびビデオ・スクーリングの際のご注意】

オンデマンド・スクーリングおよびビデオ・スクーリングにおいて、録画が前年度以前である科目も多いため、以前の教科書にもとづく講義の場合があります。その際は、最新の教科書を所持している方に対しては、必要に応じて配慮します。

また、講義内容も本冊子に記載の内容と若干異なる場合がありますが、ご了承ください。「オンデマンド・スクーリング用の講義概要」は、「TFU オンデマンド」の「各種申込」より確認してください。

### 【その他スクーリング受講上の留意点】

『学習の手引き』の「スクーリング」をご確認ください（掲載している章は入学年度により異なります）。

### ●スクーリングで学んでほしいこと

スクーリング時に、特に学んで欲しいポイントを記載しています。

### ●講義内容

コマごとのテーマ・内容が記載されています。なお、テーマの記載に当たって、スクーリング試験を分けていますので、たとえば、回数 = 1～9 と表記されている科目のスクーリングのコマ数は8コマです。

### ●スクーリング 評価基準

評価するにあたり、判断基準の割合などを記載しています。スクーリング試験にあたっての補足事項（持込の可否など）も記載されています。

### ●スクーリング事前学習

スクーリングを受講するにあたり、事前に学習しておいてほしい事項を記載しています。記載されていなくても、教科書を一読したり不明な用語を調べておいたり、レポート課題について考察しておくことをお勧めします。また、受講中（後）も、疑問点について意欲的に調べることが望まれます。予習・復習により、学習が深まり、学習効果の向上が期待できます。

### ●スクーリング事後学習

スクーリング受講後に、学習（復習）してほしい事項を記載しています。その他、スクーリング受講で得た知

識を踏まえ、未提出のレポートがある場合はレポート課題に取り組みましょう。また、「到達目標」を達成できるように各自で知識をさらに深める学習をしてください。

講義中に紹介された参考図書を読んだり、スクーリングで得た知識を、受講後の職場や家庭での実践に役立て、知識を自分のものとするのも非常に大切な事後学習となります。

## レポート学習

### ●在宅学習のポイント

主に教科書を読むポイントを15回（一部の科目を除く）に分けて記載しています。このポイントを身につけられれば、その科目の要点は十分理解したことになります。テーマ部分の（ ）内は現在使用している教科書の章立てまたはページ数です。

一部科目で、参考図書の内容が含まれる場合もあります。学習内容をより深めたい場合は、参考図書を活用することをお奨めします。なお、参考図書を読むことが必須の科目もありますので、レポートのアドバイス欄で確認してください。

### ●レポート課題

皆さんの学習の成果を先生に提出するものがレポートです。下記の「アドバイス」をよく読み、まとめてください。レポートの書き方は『学習の手引き』の「レポート学習」をご確認ください。

### ●アドバイス

レポート課題に取り組むにあたってのアドバイスが記載されています。よく読んでレポートに取り組んでください。大半の科目のレポート評価は「レポートにおける観点別ルーブリック評価」にもとづいて行います。レポートは学習の成果ですので、評価は自身の振り返りの材料、学習を深めるためのものとして利用してください。

### 【レポートにおける観点別ルーブリック評価】

評価の観点	A 十分満足できる	B やや努力が必要である	C かなり努力が必要である
題意把握・内容理解	①レポート課題そのものを理解している。②課題にそって解答がなされている。③答えるべきことからの内容について正確に理解している。④専門用語の意味などについて、正確に理解している。	①～④のいずれか2つ以上が満たされている。	①～④の3つ以上が不十分である。
論理構成・考察力	①レポートが論理的に、わかりやすく展開されている。②自分なりの視点をもって、課題を考察している。③自分なりの考え方が書かれていて、独創性の芽が感じられる。	①～③のいずれか1つ以上が満たされている。	①～③のすべてが不十分である。
表現・文字の正確さ	①誤字・脱字がない。②文章の主語・述語が対応している。③適切な語彙を用いている。	①～③のいずれか1つ以上が満たされている。	①～③のすべてが不十分である。
引用・出典明示	引用・出典が明示され、引用した部分については、「」でくくり、どこから引用したのかを、著者名・『書名』・出版社名・出版年（初版）・引用ページ（引用の場合）を挙げて明示している。	引用・出典が明示されているが、表記方法が誤っている。	引用や参考文献が用いられているにもかかわらず、明示されていない。※教科書の出典明示も必須であるので、明記がなければ当評価となる。
現実との関連づけ（※課題により要求されない場合もある）	本学の建学の精神である「行学一如」に沿って、学問的な内容を、身近な出来事や職場での問題、時事問題に関連づけて（事例を挙げる等）まとめている。	学問的な内容を、身近な出来事や職場での問題、時事問題に関連づけてまとめようとしている努力は伺えるが、内容が不十分である。	レポート内容について、現実との関連づけを行った形跡が見られない。

## 科目修了試験

### ●評価基準

科目修了試験について、先生方からのアドバイスや評価する上での判断基準が記載されています。とくに指示がない場合は「在宅学習のポイント」「到達目標」「レポート課題」と関連した内容が出題される科目が大半ですので、ポイントをしばって学習してください。

福祉心理学			科目コード	CC2068
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
2	R or SR (講義)	1年以上	渡部 純夫	



※『レポート課題集 2021』A および C に同名の科目が掲載されていますが、2021 年度 1 年次入学者は、こちらの「科目コード CC2068」となります。

## 科目の概要

### ■科目の内容

人間を取り巻き、目まぐるしく変化する社会の中で、私たちは自己形成を目指しながら生きていくために多種多様な問題と取り組まなければなりません。この世に生を受けた瞬間から死を迎えるまで、ライフサイクルを通して抱えなければならない問題や課題は山のようにあります。「福祉心理学」は、このような時代を生き抜く人々の、一人一人が求める「幸せの追求」をサポートし、「生活の質」の向上のために貢献する必要不可欠な学問といえます。一人一人の生命と生活を守るための取り組みを行いながら、社会全体にも働きかけていくことが「福祉心理学」には求められます。一人一人の心理面を心理アセスメントから深く理解し、日常生活に散見するたくさんの問題に実践の見地からの分析と対応を行うことが求められます。人間生活の基本にかかわる、「福祉心理学」をしっかりと学びましょう。

#### 【教員等の実務経験による指導内容】

心理的支援の経験と事例をもとに、「心理学」の理論や手法を身につけ人々の福祉に対処できる人財を育成します。

### ■到達目標

- 1) 人の心の基本的な仕組みと機能を理解し、環境との相互作用の中で生じる心理的反応を理解し、説明できる。
- 2) 人の成長・発達段階の各期に特有な心理的課題を理解し、説明できる。
- 3) 日常生活と心の健康との関係について理解し、説明できる。
- 4) 心理学の理論を基礎としたアセスメントの方法と支援について理解し、理解できる。
- 5) 公認心理師に関する内容について理解し、説明できる。

### ■教科書

小松紘・木村進・渡部純夫・皆川州正編著『現代と未来をつなぐ見地からの心理学(改訂版)』八千代出版、2019年(スクーリング時の教科書)

### ■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

心理実践力を身につけるため、とくに「総合的な人間理解力」「共感と自己尊重に基づくコミュニケーション能力」「心理学の学びをいかした社会貢献力」を身につけてほしい。

### ■科目評価基準

レポート評価 60% + スクーリング評価 or 科目修了試験 40%

## ■参考図書

- 中山哲志・稲谷ふみ枝・深谷昌志編『福祉心理学の世界 人の成長を辿って』ナカニシヤ出版、2018年  
佐藤泰正・中山哲志・桐原宏行編著『福祉心理学総説』田研出版、2011年  
今城周造編著『福祉の時代の心理学』ぎょうせい、2004年  
岡田明著『福祉心理学入門』学芸図書、1995年  
水島恵一編著『人間科学入門』有斐閣双書、1976年  
村上陽一郎著『生と死への眼差し』青土社、1993年  
藤森和美編『子どものトラウマと心のケア』誠信書房、1999年  
岩城宏之著『いじめの風景』朝日新聞社、1996年  
村瀬嘉代子著『子どもと大人の心の掛け橋』金剛出版、1995年  
佐藤泰正・山根律子編著『福祉心理学』学芸図書、1998年（改訂版、2005年）  
白樫三四郎編著『現代心理学への招待』ミネルヴァ書房、1995年  
宮原和子・宮原英種著白樫三四郎編著『現代心理学への招待』ミネルヴァ書房、1995年  
小林重雄監修『福祉臨床心理学』コレール社、2002年  
安藤治著『福祉心理学のこころみ』ミネルヴァ書房、2003年

## スクーリング

### ■スクーリングで学んでほしいこと

人の心の基本的な仕組みと機能、環境との相互作用の中で生じる心理的反応、および成長・発達段階の各期に特有な心理的課題、および日常生活と心の健康との関係について理解するため、「心理学」の理論や手法を応用して、人々の福祉に対処するための方法、福祉現場において生じる問題及びその背景、心理社会的課題及び支援について学びます。

### ■講義内容

回数	テーマ	内容
1	心理学の視点	心理学の歴史と対象、心理学の未来、心を探求する方法の発展
2	人の心の基本的仕組みと機能①	心理学における諸理論と形成過程、心の生物学的基盤、感情・動機づけ・欲求、感覚・知覚
3	人の心の基本的仕組みと機能②	学習・行動、認知
4	人の心の基本的仕組みと機能③	個人差、人と環境
5	人の心の発達過程	生涯発達、心の発達の基盤、生きがいと問題行動への対応
6	日常生活と心の健康	生活環境と心の健康、心の不適応、健康生成論、喪失体験
7	心理学の理論を基礎としたアセスメントと支援の基本①	心理アセスメント、心理的支援の基本的技法
8	心理学の理論を基礎としたアセスメントと支援の基本②	心理アセスメントとその技法、心理療法におけるアセスメントと介入技法の概要、心理の専門職、まとめ
9	スクーリング試験	

※オンデマンド・スクーリング、ビデオ・スクーリングでは、上記講義内容と異なる場合があります。

## ■講義の進め方

一人ひとりの幸せを考えていくために、心理学がどのように貢献できるか、具体例をあげながら講義をしていきます。その中で理論と実践がどう融合していくのかについても考えていきます。

## ■スクーリング 評価基準

授業への参加状況 (20%) + スクーリング試験 (80% : 持込不可)

## ■スクーリング事前学習 (学習時間の目安 : 5~10 時間)

教科書を読み、人の一生と心理学がどのように結びつきを持つのかについてまとめてきてください

## ■スクーリング事後学習 (学習時間の目安 : 20~25 時間)

自分の身近な福祉の問題を取り上げ、「福祉心理学」の理論や技法から、どのような援助が可能かまとめてみてください。

## レポート学習

### ■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
1	心理学の歴史から未来を考える①	心の学の誕生とその歩み キーワード: 行動主義、ゲシュタルト、精神分析	心理学の歴史を振り返る事により、心理学がどのような発展を遂げてきたかを学ぶ。
2	心理学の歴史から未来を考える②	現代の心理学から未来へ キーワード: 環境・社会心理学、発達心理学、臨床心理学、倫理	現代の心理学とその課題を理解することにより、未来における心理学の可能性を考える。
3	人は現実世界をどうとらえ、経験し、困難を克服するか①	「知る」ことの仕組みとその応用 キーワード: 知覚、認知	「知る」という心理機能と行動の基本的メカニズムについて学び、日常生活への活用について考える。
4	人は現実世界をどうとらえ、経験し、困難を克服するか②	「学び、覚える」事の仕組みとその応用 キーワード: 学習、条件づけ、行動主義、記憶	社会・文化的な側面の理解についての結びつきを踏まえ、「学習、記憶」という心理機能と行動のメカニズムについて学ぶ。
5	人は現実世界をどうとらえ、経験し、困難を克服するか③	「考え行う」事の仕組みとその応用 キーワード: 知能、問題解決	「知能」とは何か、「問題を解決する」時の心の働きに着目し、「思考」のメカニズムについて学ぶ。
6	心の成り立ちと個性の形成を考える①	「行動」から見た心と個性 キーワード: 動機づけ、感情、社会的認知	人間の「行動」を、心理学的に理解していくための諸理論について学ぶ。
7	心の成り立ちと個性の形成を考える②	「パーソナリティ」から見た心と個性 キーワード: パーソナリティ、自我・自己、自己実現	人を特徴づける「パーソナリティ」の様々な考え方について学ぶ。
8	心の成り立ちと個性の形成を考える③	「人間性」から見た心と個性 キーワード: 人間性心理学、感性、コミュニケーション、適応	「人間性心理学」の各理論と「コミュニケーション」の基礎概念について学ぶ。

9	ともに生きるための心理学の役割①	生活環境作りと心理学の役割 キーワード：父性原理・母性原理、ウェルビーイング、分化心理学、パーソナル・スペース	心理学的アプローチに基づいて、人と人、家族、社会・文化、環境との関連性を学び、心理学の役割を考える。
10	ともに生きるための心理学の役割②	人の健康と心理学の役割 キーワード：ストレス、予防	健康と「ストレス」の関連性について、様々な生活場面における問題と、心理的側面からの対処について考える。
11	ともに生きるための心理学の役割③	心理臨床の現場から キーワード：DSM-IV、ICD-10、アセスメント、心理療法、福祉と心理	単純に因果関係を特定できない「心の問題」を学び、「アセスメント」「心理療法」について考える。
12	「人生」を生きていくということ①	生涯発達 キーワード：変化、積み重ね、可塑性	「生涯発達心理学」という視点から「発達」についての考え方を学ぶ。
13	「人生」を生きていくということ②	障害をもって生きるということ キーワード：WHO,受容	「障害」とは何かを正確に理解する。「障害」の意味・援助の在り方を考える。
14	「人生」を生きていくということ③	思春期を生きる キーワード：同一性、自我、モラトリアム	「思春期の変化」を、「身体的変化」と「心理的变化」に分けて考える。また、その過程で、心理学がどのように貢献できるかを考察する。
15	「人生」を生きていくということ④	老年期を生きる キーワード：個人差、パーソナリティ、生きがい、死、幸福、福祉	加齢が及ぼす身体的・心理的变化を学び、心理学・社会福祉学の両面からのアプローチを考える。

## ■レポート課題

1 単位め	『客観式レポート集』記載の課題に解答してください (Web 解答可)。
2 単位め	福祉心理学の枠組みのひとつである人間理解が、「心理学的視点」からはどのように行われるかについてまとめ、考察しなさい。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

## ■アドバイス

「福祉心理学」では、深い人間理解が必要になります。人間は発達を通していろいろなものを身に付け、自己形成の課題に取り組んでいきます。課題に直面し不適応を起こすこともあります。そのような人々に対して援助を行うにあたっては、一般的な発達においての特徴と課題をしっかりと押さえておくことが必要になります。しかし、人間には個性や個人差があります。個としての見方やとらえ方も同時に必要になります。

この「福祉心理学」では、まず心理学の視点から人間理解を深めていくことを行います。その上で、何らかの援助を必要としている人に対して、どのような援助方法があるのか、ひとりひとりのニーズにどのように応えていけばよいかについて、理念と実践から考えていくことにしたいと思います。「福祉心理学」を考えると、「社会福祉」と「心理学」の二面性の問題と向き合うことになってきますが、ここでは「心理学」を「福祉」にどう活用するかという観点から考えていただきたいと思います。

## 1 単位め アドバイス

教科書をよく読み、『客観式レポート集』記載の課題に解答してください。「TFU オンデマンド」上で解答することも可能です。

## 2 単位め アドバイス

- (1) テキスト『現代と未来をつなぐ実践的見地からの心理学』の第1部「心理学の歴史から未来を考える」から第3部「心の成り立ちと個性の形成を考える」までをよく読み、人間の心理的活動がどうなっているかを理解するための努力をしてください。
- (2) 次に、参考図書にあたり人間理解のための方法や視点の共通点と違いについてまとめ、考えを膨らませてください。あなた自身が今まで行ってきた理解の仕方についてもふりかえりを行ってください。
- (3) それらを、分析・考察しながら自分なりにまとめていくことにより、深い人間理解にもとづいたレポートができあがると思います。
- (4) 人間のすべての行動面に「心理学」は関わりをもちますから、日々の生活の中で気になる人間の行動をとりあげ、「心理学」とつないで学んでみるとよいと思います。

## 科目修了試験

### ■評価基準

- 1) 人生のライフステージの課題を理解しているか
- 2) 福祉心理学の視点が理解されているか
- 3) テキスト以外の文献で発展的学習をしているか
- 4) 自分の考えをまとめる力があるか
- 5) 専門的内容をどれくらい理解しているか



<b>社会学と社会システム</b>			科目コード	CC2169
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
2	R or SR (講義)	1年以上	牛渡 亮	



## 科目の概要

### ■科目の内容

近代以降の社会の発展は、それまでよりも豊かで便利な生活を私達にもたらしました。しかしその一方で、近代社会に特有の社会構造は様々な問題を生み出し、私たちの家族関係や生活環境を脅かしています。とりわけ、20世紀末葉以降の福祉国家の衰退と新自由主義の台頭は、社会の結びつきを揺るがし、「ソーシャル」(社会的なるもの)のあり方を大きく変容させています。

そこで本講義では、社会学の知見を通して、私たちの生きる社会について考察します。社会学は、19世紀から20世紀に生きた人々のみずからの生きる社会を理解しようと努力する中で鍛え上げられてきた学問です。その成果を活用しながら、ひとりひとりが現代社会における「福祉」について考えるための視角を身につけてほしいと思います。

#### 【スクーリングで学ぶ内容】

スクーリングは、内容のつながりを理解しやすいように、教科書の内容を再構成した2部構成となっています。第1部では、社会学の基本的な問題関心や分析視角を学習します。第2部では、福祉について議論する上で土台となる家族生活に関わる諸問題と現代の社会問題を取り上げ、福祉との関わりについて議論します。授業内容をみずからの生活や問題関心に引き寄せながら、積極的に考えてほしいと思います。

#### 【教科書・レポート学習で学ぶ内容】

教科書は、重要語句を覚えるだけでなく、どのような議論の中でその言葉が使われているのかを確認しながら読み進めてください。また、わからない言葉や興味を持った内容については、辞書や参考図書を活用して積極的に調べてください。

レポート学習は、授業内容を復習すると同時に、みずからの考えを表現する機会です。考えていることを文章にまとめようとすると、内容理解の不十分な箇所がはっきりします。その場合は、教科書や参考図書を読み直して、再度自分の考えを整理してください。

### ■到達目標

- 1) 社会学の概念や語句を正しく理解し、説明できる。
- 2) 近代以降の家族の変容を理解し、今日の家族に生じている問題との関連性を説明できる。
- 3) 現代社会に生じている問題を理解し、それに対するみずからの考えを他者に表現できる。

### ■教科書

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『最新 社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座 3 社会学と社会システム』中央法規出版、2021年  
(スクーリング時の教科書) スクーリング時は上記教科書を使用せず、資料を配付します。

### ■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

とくに「専門的知識」「他者への関心と理解」「社会への関心と理解」「自己尊重的コミュニケーション力」「他者配慮表現力」「クリティカルシンキング力」「アセスメント力」「社会貢献力」を身につけてほしい。

### ■科目評価基準

レポート評価 50% + スクーリング評価 or 科目終了試験 50%

## ■参考図書

- 1) 長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志著 『社会学 新版』 有斐閣、2019
  - 2) アンソニー・ギデンズ著 『社会学 第五版』 而立書房、2009
  - 3) 大澤真幸著 『社会学史』 講談社、2019
  - 4) 宮島喬編著 『岩波小辞典 社会学』 岩波書店、2003
- その他、教科書の節ごとに掲載されている参考文献も参照してください。

## スクーリング

### ■スクーリングで学んでほしいこと

第1回から第4回までの第1部では、社会学を学ぶ上で土台となる用語や考え方について学習します。社会学の誕生は、近代社会の成立と切り離して考えることができません。そこで、近代化の背景や近代化による社会の変化を中心に学習します。単に用語や人名を覚えるだけではなく、なぜそれが重要なのかを説明できるように文脈の中で把握してください。

第5回から第7回までの第2部では、近代以降の家族に関わる問題と現代の社会問題を学習します。私たちは家族の一員として生まれ、生活し、またみずからも家族を形成し、育てていきます。しかし、家族とは私たちがイメージするほど自明な存在ではありません。そこで、家族という身近な存在に対して、みずからの経験から一歩距離をとって冷静に観察し、理論やデータをふまえた客観的な議論ができるようになってほしいと思います。また、今日生じている社会問題には、近代社会に特有の構造的特徴が色濃く反映されています。そのため、第1部で学習した知識を総動員して、多面的に社会問題について検討してほしいと思います。

### ■講義内容

回数	テーマ	内容
1	社会学の視点	構築主義、相対主義、役割理論、社会学の歴史
2	近代化と社会的連帯	社会変動、組織と集団、社会的連帯
3	地域とコミュニティ	都市化、過疎化、コミュニティ、環境問題、高齢化
4	自己と他者	自己の形成、社会化、相互行為
5	家族とジェンダー	家族の概念・機能・形態、近代家族、ジェンダーロール
6	格差と労働	労働の概念、就業形態、格差と貧困、社会階層
7	差別と偏見	逸脱、ラベリング、スティグマ、社会的排除・包摂
8	質疑応答	ここまでのまとめ
9	スクーリング試験	

### ■講義の進め方

配付資料をもとに板書もしながら進めます。

### ■スクーリング 評価基準

到達目標記載内容に関連した問題を出題します（教科書・配付資料持込可）。

### ■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

教科書を一通り読んでください。難しい言葉や議論については読み飛ばして構いません。

### ■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25時間）

教科書をもう一度読んでください。事前学習の時とは違った発見があるはずです。また、関心を持った節の末尾に記載されている参考文献を読み進めてください。

## レポート学習

### ■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
1	社会学の視点(第1章第1節・第2節)	社会学の意義と対象、社会学の歴史	代表的な社会学者とその理論を中心に学習しましょう。
2	社会システム(第2章第1節)	社会秩序の構成、社会をシステムとしてみる、社会階層システム	パーソンズとマーソンの議論を中心に学習しましょう。
3	組織と集団(第2章第2節)	集団と組織、組織の合理化と官僚制、全制的施設、非営利セクターと非営利組織	社会学者たちが集団をどのように分析しているのかを比較しましょう。また、官僚制の特徴を整理しましょう。
4	人口(第2章第3節)	人口増加の時代と人口減少の時代、日本の人口高齢化、日本の少子化、日本の移動	人口転換と少子高齢化を中心に学習しましょう。
5	グローバリゼーション(第2章第4節)	グローバリゼーション、日本における医療・福祉部門の外国人	ヒト・モノ・カネの移動を軸に、グローバリゼーションを整理しましょう。
6	社会変動(第2章第5節)	社会変動とは何か、前近代社会から近代社会へ、社会変動の要因と諸相、現代社会におけるソーシャルワーカーの役割	前近代社会から近代社会への変化を、社会学者たちがどのように描いているのかを比較してみましょう。
7	地域(第2章第6節)	地域とコミュニティ、地域社会をめぐる課題の背景、地域コミュニティと福祉コミュニティ	限界集落やソーシャルキャピタルを中心に学習しましょう。
8	環境と災害(第2章第7節・第3章第4節)	環境破壊と再生・保全、持続可能な地域社会、被災地支援の考え方、災害の定義、発災後の被災地社会の変化	環境については持続可能性を、災害については被災体験を中心に学習しましょう。
9	社会的格差(第3章第1節)	格差、格差と貧困、雇用格差、教育格差、健康格差	貧困や非正規雇用を中心に学習しましょう。
10	社会政策と社会問題(第3章第2節)	産業社会の社会問題と社会政策、社会政策(福祉国家)の三つのタイプ、社会政策への批判と新しい社会政策	福祉国家の三つのタイプを中心に学習しましょう。また、ソーシャルガバナンスについても整理してください。
11	差別と偏見(第3章第3節)	社会的排除・社会的包摂とは何か、偏見、差別、ソーシャルワーカーは偏見・差別にどう向き合うべきか	ラベリング理論を踏まえて、現代の差別について考えてみましょう。
12	家族とジェンダー(第4章第1節)	家族に関する基本的な概念、ジェンダーと近代家族論、近年における家族変動	家族の分類と機能、近代家族におけるジェンダー役割を中心に学習しましょう。
13	健康と労働(第4章第2節・第3節)	自殺、依存症、心身の障害、慢性疾患、治療と仕事の両立、賃労働の誕生、労働市場の性質とルールの導入	健康については当事者概念を、労働については労働法を中心に学習しましょう。
14	世代(第4章第4節)	世代と社会、ライフサイクルとライフステージ、ライフコース、個人化する社会と「社会問題」	ライフサイクル、ライフステージ、ライフコースなどの概念を整理しましょう。
15	自己と他者(第5章)	自己と他者、社会化、相互行為	ミードによる自己の形成に関する議論を中心に学習しましょう。

## ■レポート課題

1 単位め	『客観式レポート集』記載の課題に解答してください (Web 解答可)。
2 単位め	前近代社会から近代社会へと変化するきっかけとなった出来事をまとめた上で、近代化によって社会がどのように変化したのかを多面的に論じてください。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

## ■アドバイス

社会学を学ぶ上で大切にしたいことは、ひとつの社会現象を様々な視点から分析するという事です。特に、福祉に関わる社会問題を考える場合、一問一答式にただひとつの「正解」があることは稀で、ほとんどはその問題を考える人の立場ごとに異なる解答があります。そのため、ひとつの問題を色々な側面から検討し、比較し、客観的なデータを参照しながら考察する多面的な視角が求められます。

今回出題しているレポートは、教科書の一部を参照するだけでは不十分です。近代化の影響は、社会の様々な領域に及んでいます。したがって、それを分析するためには、色々な視点から考察を加える必要があります。採点する際には、どれだけ広い視野から問題を考えているのかを評価します。

また、教科書の内容に関する理解が正確かどうかを評価します。確かに、社会学で使用される概念や社会学者たちの理論には、難解なものもあります。そこで、教科書を読んでもよくわからない事柄については、辞書や参考図書で関連する内容を確認したり、スクーリングの資料を復習したりして、正確に理解できるよう努めましょう。

### 1 単位め アドバイス

教科書をよく読み、『客観式レポート集』記載の課題に解答してください。「TFU オンデマンド」上で解答することも可能です。

### 2 単位め アドバイス

このレポートでは、前半でなぜ前近代社会から近代社会への変化が生じたのか、きっかけとなった出来事は何かを簡潔にまとめてください。その上で、後半では近代化が社会にどのような変化をもたらしたのかを論じてください。

なお、教科書の第2章第5節に「社会変動」という項目がありますが、この部分だけではなく、教科書の様々なところで近代化による社会変動が議論されています。そのため、第2章第5節を中心としながらも、教科書や参考図書をよく読んで、色々な問題を視野に収めたレポートを作成してください。

## 科目修了試験

### ■評価基準

- 1) 授業で学習した社会学の用語や概念を正確に理解し、解答する際に活用できている。
- 2) 現代社会に生じている社会問題の歴史的背景を理解し、考察に反映できている。
- 3) 問題解決に向けて、授業内容をふまえた建設的な議論ができている。
- 4) 文章が読みやすく、適切な分量でまとめられている。

<b>高齢者福祉</b>			科目コード	CD2170
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
2	R or SR (講義)	1年以上	石附 敬	



## 科目の概要

### ■科目の内容

本科目は、高齢期の特徴、超高齢社会の諸課題について理解した上で、高齢者とその家族に対する諸制度と支援の方法について体系的に理解することを目的とします。全体的な学習の流れとしては、高齢者福祉の理念および目的について学習し、あわせて現行の高齢者福祉施策の体系の全般的理解を図り、それらを基礎知識として活用しながら、高齢者とその家族に対する支援方法についても学んでいきます。

スクーリングでは、高齢者（老い）の定義と特性、少子高齢社会と高齢者を取り巻く諸問題、高齢者保健福祉の発展過程、介護保険制度の概要とサービス体系、高齢者と家族に対する支援体制と方法について重要なポイントを中心に講義します。スクーリングの前と後に教科書を読むことでさらに学びを深めていきます。レポート学習ではスクーリングと教科書で得た知識の活用と定着を目指します。

### ■到達目標

- 1) 高齢者（老い）の定義と特性について理解し説明できる。
- 2) 少子高齢社会の現状と高齢者を取り巻く諸問題について理解し説明できる。
- 3) 高齢者に対する諸制度について理解し説明できる。
- 4) 介護保険制度とサービスの体系について理解し説明できる。
- 5) 高齢者を支援する組織と専門職の役割を理解し説明できる。
- 6) 高齢者支援の方法について理解し説明できる。
- 7) 高齢者福祉に関わる諸問題に関心を持ち、今後の課題について考えることができる。

### ■教科書

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 『最新 社会福祉士養成講座 2 高齢者福祉』 2021 年、中央法規（スクーリング時の教科書）上記教科書を参考程度に使用します。

### ■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

とくに「専門的知識」「社会への関心と理解」「クリティカルシンキング力」「アセスメント力」「問題解決力」を身につけてほしい。

### ■科目評価基準

レポート評価 40% + スクーリング評価 or 科目修了試験 60%

## ■参考図書

- 1) 内閣府編『高齢社会白書』※毎年発行 内閣府 <https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/index-w.html>
- 2) 柴田博・杉澤秀博・長田久雄編著『老年学要論－老いを理解する－』建帛社、2007年
- 3) 中里仁著『特別養護老人ホームの日と人』CLC出版、2017年
- 4) 萩野浩基・長岡福祉会編『小山剛の拓いた社会福祉』中央法規、2016年

## スクーリング

### ■スクーリングで学んでほしいこと

「老いとは」「高齢者とは」何か、日本の高齢化の現状と高齢者を取り巻く諸問題、これまで高齢者福祉がどのように発展してきたのかについて学びます。その上で、高齢者の特に介護問題に焦点をあてて、対応する制度と高齢者とその家族への支援方法について学びます。

### ■講義内容

回数	テーマ	内容
1	高齢者（老い）の定義と特性①	身体的、精神的、社会的な老い
2	高齢者（老い）の定義と特性②	総合的な視点、事例
3	少子高齢社会と高齢者を取り巻く諸問題	少子高齢社会、健康・介護・経済・生活意識等
4	高齢者福祉の発展	戦後から介護保険制度の成立まで
5	介護保険制度の概要	制度の特徴、保険の仕組み、要介護認定、ケアマネジメント
6	介護保険サービスの体系	在宅サービス、施設サービス、事例
7	高齢者と家族に対する支援体制と方法	関係機関、専門職の役割、支援方法と留意点
8	スクーリングのまとめ、質疑応答	
9	スクーリング試験	

### ■講義の進め方

パワーポイントおよび配付資料を中心に講義を進めます。教科書は参考程度に使用します。

### ■スクーリング 評価基準

スクーリング試験のみ（持込全て可）。スクーリング講義で説明した内容について理解を問います。

### ■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

教科書の講義テーマに関係する箇所を事前に読んで、自分なりに学びたいことを考えてきてください。

### ■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25時間）

受講後は、体系的に知識を整理することと、それぞれの関心のあるテーマについて、書籍、論文、新聞記事など読み学びを深めてください。

## レポート学習

### ■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
1	高齢者の定義と特性	高齢者の定義、老いの社会的、身体的、精神的側面について学ぶ。	教科書 P.1-15 を読み、老いの諸側面について理解したうえで、身近な高齢者を例に当てはめ高齢期に幸せに暮らすために何か重要か考えてみてください。
2	少子高齢社会	人口統計に基づく少子高齢化の実態について学ぶ。	P.16-21 を読み、日本の人口の高齢化の特徴、地域間格差の問題等について理解をしてください。内閣府の『高齢社会白書』も参考にしてください。
3	高齢者の生活実態	高齢者の経済・就業、健康、介護、社会参加、生活環境について学ぶ。	P.24-33 を読み、高齢者を取り巻く諸問題について理解する。
4	高齢者を取り巻く社会環境	高齢者世帯の特徴、家族による介護の状況、家族介護者への支援の問題について学ぶ。	P.34-44 を読み、現代における高齢者を支える家族の脆弱化と必要な支援の視点について理解する。
5	高齢者福祉の理念	高齢者観の変遷、エイジズム、生涯発達、サクセスフルエイジング、高齢者福祉の理念等について学ぶ。	P.45-50、62-67 を読み、高齢者観の変遷と現代における高齢者像、高齢者福祉の理念について理解する。
6	高齢者福祉の発展①	明治以降から老人福祉法制定前までの高齢者保健福祉の発展の流れについて学ぶ。	P.51-55 を読み、明治以降から 1963 年の老人福祉法制定までの流れについて理解する。
7	高齢者福祉の発展②	老人福祉法制定から現在までの高齢者保健福祉の発展の流れ、近年の介護保険制度の改正の方向性について学ぶ。	P.55-61 を読み、老人福祉法制定以降、人口に占める高齢者の割合の増大とともに制度がどのように改正されてきたのか理解する。
8	介護保険制度の概要	介護保険制度の枠組み、財政、保険者と被保険者、保険料、認定のプロセス等について学ぶ。	P.70-86 を読み、介護保険制度の仕組みについて理解する。
9	地域支援事業	地域支援事業、地域包括支援センターの役割について学ぶ。	P.87-95 を読み、市町村が取り組む地域支援事業と地域包括支援センターの機能、三職種、役割について理解する。
10	介護保険サービスの体系	居宅サービス、介護予防サービス、地域密着型サービス、施設サービスについて学ぶ。	P.96-110 を読み、サービスの 4 つの枠組み毎に具体的サービスの内容を一覧にまとめて理解する。
11	高齢者に対する関連諸制度①	高齢社会対策基本法、高齢社会対策大綱、老人福祉法について学ぶ。	P.111-127 を読み、高齢社会対策基本法に基づき、様々な法律が関連していること、老人福祉法の理念等を理解する。
12	高齢者に対する関連諸制度②	高齢者医療確保法、高齢者虐待防止法、バリアフリー法について学ぶ。	P.128-144 を読み、各法律の概要について理解する。
13	高齢者に対する関連諸制度③	高齢者住まい法、高齢者雇用安定法、育児・介護休業法、市町村独自の高齢者支援について学ぶ。	P.145-167 を読み、各法律や市町村独自の支援の概要について理解する。
14	関係機関と専門職の役割	高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割について学ぶ。	P.170-188 を読み、各機関や専門職の役割について理解する。
15	高齢者と家族に対する支援方法	アセスメントとコミュニケーション、個人へのソーシャルワークとケアマネジメント、家族への支援などについて学ぶ。	P.189-209 を読み、高齢者と家族への支援方法と留意点等について理解する。

## ■レポート課題

1 単位め	『客観式レポート集』記載の課題に解答してください（Web 解答可）。
2 単位め	我が国の人口の高齢化の特徴と高齢者を取り巻く諸課題を述べたうえで、今後どのような取り組みが必要となるのか、学んだ知識をいかしてあなたの考えを述べなさい。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

## ■アドバイス

高齢者福祉は、「古い」「高齢者」とは何か、なぜ高齢者に対する支援（制度）が必要なのか、世界との比較で日本の人口の高齢化はどのような特徴があって、それによってどのような課題に直面しているのかという老いと社会の問題を学ぶことが第1段階です。その理解をベースに、次に高齢者と家族を支援する介護保険等の制度やサービス、支援の方法について学びます。この科目で学ぶ内容は、単に知識として学ぶだけでなく、身近な高齢者やお住いの地域の実情に当てはめて考えることが大切です。また、皆さん自身がどのような老いを迎えたいか、もし介護が必要になった時にどこでどのように暮らしたいか、親に介護が必要になった時自分で行えることは何か、またそのような希望に近づけるために今から何ができるのかなど、知識と経験をいかして考えることが大切です。

### 1 単位め アドバイス

教科書をよく読み、『客観式レポート集』記載の課題に解答してください。「TFU オンデマンド」上で解答することも可能です。

### 2 単位め アドバイス

我が国の人口の高齢化の特徴は、高齢化率が世界で最も高く、その進行が急速であること、都道府県や市町村レベルでの格差が大きいことなどがあります。また、世帯構造の変化という点では高齢者のみ世帯、高齢単身世帯の増加も見られます。これら人口構造の変化を背景に、高齢者の生活がどう変わりどのような課題が浮上しているのか、そしてそれらの課題に対してどのような取り組みが今後必要となるのか、学んだ知識をいかしてあなたの考えを述べてください。参考資料としては、教科書や『高齢社会白書』などを活用すると良いでしょう。

字数は、1,800 字以上でまとめてください。1,800 字未満では再提出になる可能性が高くなります。

## 科目修了試験

### ■評価基準

テキストの内容を自身で要約することにより、下記の項目について理解を深めてください。

- 1) 「地域包括支援センターの役割と業務内容」について記述してください。（第4章第2節 p.91-94）  
※地域包括支援センターの役割と業務について理解しているか。
- 2) 「地域密着型サービスの内容」について記述してください。（第4章第3節 p.103-106）  
※地域密着型サービスについて理解しているか。
- 3) 「エイジズムとは何か」について記述してください。（第3章第1節 p.47）  
※エイジズムについて理解しているか。
- 4) 「高齢者とコミュニケーションをとる際の留意点」について記述してください。（第7章第1節 p.190-192）  
※高齢者とコミュニケーションをとる際の留意点について理解しているか。

<b>障害者福祉</b>			科目コード	CD2171
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
2	R or SR (講義)	1年以上	関川 伸哉	



## 科目の概要

### ■科目の内容

社会における諸課題を理解し課題解決に取り組むために、障害のある人を取り巻く現状を理解するとともに、関係する法律や制度について理解し考察する力を身につけます。そのため、障害者福祉に関する基本から実際（実情）まで幅広く学習してください。

### 【スクーリングで学ぶ内容】

障害者福祉の基本について制度、歴史、支援の在り方等について広く学習します。スクーリングでは、随時、振り返りを行いながら専門用語について「言葉と言葉の仕組み」について学習していきます。

### 【教科書・レポート学習で学ぶ内容】

障害及び各種障害の定義、人的・物的・社会的環境からの支援内容等について幅広く学習します。レポート学習の際には、一つ一つの専門用語を整理しながら知識の習得を図ります。

### ■到達目標

- 1) 障害者福祉の理念と障害の概念について説明することができる。
- 2) 障害当事者を取り巻く現状やこれまでの歴史を踏まえ、当事者が抱える問題への認識を深めつつそれを説明することができる。
- 3) 障害者福祉制度、関連施策への理解を深め、当事者が抱える問題の軽減・解決に向けた取り組みについて説明することができる。
- 4) 障害者福祉に関する基本用語（障害とは、差別、偏見、自立、自立等）について自身の言葉で説明することができる。

### ■教科書

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士養成講座 8 障害者福祉』2021年2月、中央法規（スクーリング時の教科書）上記図書は、参考程度に使用します。スクーリング時は、必要に応じて資料を配付します。

### ■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

とくに「専門的知識」「社会への関心と理解」を身につけてほしいです。

専門的知識は、多職種連携の際などに使える知識とすることが大切です。

社会への関心と理解は、今後のわが国の障害者形態（高齢と障害等）に目を向け、将来を考える力が大切です。

## ■科目評価基準

スクーリング評価 or 科目修了試験評価を 100%とします。

## ■参考図書

- 1) 福島 智『ぼくの命は言葉とともにある 9歳で失明 18歳で聴力も失ったぼくが東大教授となり、考えてきたこと』致知出版社、2015年
- 2) 伊是名 夏子『ママは身長 100cm』ハフポストブックス、2019年

## スクーリング

### ■スクーリングで学んでほしいこと

「障害とは何か?」といった基本問について皆さんと一緒に考え、主に社会モデルの側面から障害について整理・学習したいと思います。また、障害者福祉の歴史・制度について整理・学習する中で、今後の障害者福祉の在り方や各種専門職の役割について考察していただきたいと思います。

### ■講義内容

回数	テーマ	内容
1	障害者を取り巻く社会環境及び偏見と差別について考える	偏見と差別について考える中で、社会的障害と共生社会について考察します
2	3障害（発達障害含）に関する整理	身体障害、知的障害、精神障害、発達障害から障害者の定義と特性について学習します
3	障害者福祉の歴史①	ノーマライゼーション、知的障害者・障害者の権利条約、IL 運動等、国際障害者年前後の障害者福祉の変化について学習します
4	障害者福祉の歴史②	障害者の権利に関する条約と障害者基本法について、歴史的背景を踏まえ整理し、ソーシャルインクルージョンの視点から、これからの障害者福祉について考察します
5	障害者福祉の法制度①	身体障害児者及び知的障害者の現状と推移予測について学習します 身体障害福祉法、知的障害者福祉法及び児童福祉法の概要等について学習します
6	障害者福祉の法制度②	精神障害児者及び発達障害の現状と推移予測について学習します 精神障害者福祉法及び発達障害者支援法の概要等について学習します
7	障害者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割	ICF（ICIDH との違い含）から考える障害者支援と関係機関（社会環境）の役割について学習します
8	障害者と家族等に対する支援の実際 まとめ及び質疑応答	ICF から考える障害者支援、専門職（人的環境）の役割について学習します スクーリング内容について整理します
9	スクーリング試験	

## ■講義の進め方

パワーポイントおよび配付資料を中心に講義を進めます。指定図書は参考程度に使用します。

講義の途中に確認問題（テスト）等を実施し、学習内容の振り返りを行います（試験ではなく学習のための振り返りです）。

## ■スクーリング 評価基準

スクーリング試験は、基本的にスクーリング中に学修した内容から出題します（一部持込可：スクーリング時指定します）。評価基準は、スクーリング受講後のスクーリング試験を100%とします。

## ■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

- ・「障害とは何か？」について調べ、自分なり考えてきてください。
- ・戦後のわが国の障害者福祉施策の歴史について学習・整理してきてください。
- ・障害者福祉に関係する各種用語について学習・整理してきてください。
- ・身近な差別や偏見について取り上げ、考察してみてください。
- ・上記は、可能な範囲でノートにまとめスクーリング時に持参してください。

## ■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25時間）

- ・スクーリング時に配付した資料を全て読み返し、必要に応じてノートのまとめてください。
- ・その際には、参考図書等を用いて内容の確認・追記を行うようにしてください。
- ・スクーリングで学んだ内容は、自身の言葉で他者に伝えられるように、言葉にして繰り返し学習してください。
- ・上記を終えた後にレポート学習に取り組んでください。

## レポート学習

### ■在宅学習 15のポイント

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
1	障害概念と特性①	各種制度、難病、各種手帳	・障害及び各種障害の定義、支援内容について学習してください ・難病等の種類、特性、支援内容について学習してください ・各種手帳について表などを作成して整理してください
2	障害概念と特性②	ICD、ICIDH、ICF、人と環境の相互作用	・ICIDHについて学習してください ・ICIDHの特徴を踏まえながらICFについて学習してください ・医学モデルと社会モデルの違いと整理し、具体的な活用方法について学習してください
3	障害者福祉の理念①	スティグマ、優生学	・差別と偏見の関連性について学習してください ・優生思想の背景と今後の障害者福祉について学習してください
4	障害者福祉の理念②	8つの原理、SRV、自立	・ノーマライゼーション以降の障害者福祉の基本にあるものについて多角的に学習してください
5	障害者福祉の歴史①	恤救規則、肢体不自由、救護法	・過去の障害者への処遇について学習してください ・障害者福祉の制度について歴史的背景を踏まえながら学習してください

6	障害者福祉の歴史②	親の会、コロニー、完全参加と平等	・障害者福祉制度と当事者運動について学習してください ・障害者権利条約と障害者基本的について学習してください
7	障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境と課題①	地域生活、就労、8050	・障害者の生活実態と就労・自立を含めた支援について学習してください ・障害者家族のニーズや支援について学習してください
8	障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境と課題②	ソーシャルインクルージョン、コンフリクト、テクノロジー	・インクルーシブな社会とは何かについて学習してください ・障害者を取り巻く社会環境と課題について学習してください
9	障害者に対する法制度①	障害者基本法、障害者総合支援法、障害等級	・障害者基本法及び障害者総合支援法を踏まえた各種障害者・児（身体・知的・精神）に関する制度について学習してください
10	障害者に対する法制度②	手帳、入院、発達障害者支援法	・障害者基本法及び障害者総合支援法を踏まえた各種障害者・児（児童・発達）に関する制度について学習してください
11	障害者に対する法制度③	障害者福祉計画、合理的配慮、意思の表明	・障害者虐待防止法及び障害者差別解消法について学習してください ・バリアフリー法について学習してください
12	障害者に対する法制度④	アクセシビリティ、共生社会、差別の禁止	・障害者雇用促進法及び障害者優先調達推進法について学習してください
13	障害者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割①	各種機関の役割、トータルサポート、ライフステージ	・障害者と家族等の支援における関係機関の役割について学習してください
14	障害者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割②	各種専門職、多職種連携、利用計画	・関連する専門職の役割について学習してください
15	障害者と家族等に対する支援の実態	ソーシャルワーク、エンパワーメント、コーディネーター	・障害領域におけるソーシャルワークの役割と障害者と家族等に対する支援の実態について学習してください

## ■レポート課題

1単位め	『客観式レポート集』記載の課題に解答してください（Web 解答可）。
2単位め	「障害とは何か？」及び「障害者福祉に関わる理念の変遷」についてまとめ、障害者を取り巻く現状やその抱える問題について考察しなさい。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

## ■アドバイス

- ・学習内容は、ノートにまとめ定期的に振り返りを行うようにしてください。
- ・レポート作成時に疑問に感じた点は重要な学習課題ですので、しっかりと調べて理解できるように努めてください。
- ・論述式のレポートを作成する際には、予め章立て（構成）を確認・理解した後に作業を開始してください。
- ・スクーリングの際には、事前学習のノート等を忘れずに持参してください。

## 1 単位め アドバイス

教科書をよく読み、『客観式レポート集』記載の課題に解答してください。「TFU オンデマンド」上で解答することも可能です。

## 2 単位め アドバイス

レポート作成の際には、3つ以上の参考・引用文献を用い、最後に記載してください。

レポート作成の際、引用個所がわかるように必ず引用番号を記載してください。

必ず、下の章立てを行ってください。

1. 障害とは何かについて
2. 障害者福祉に関わる理念の変遷について
3. 障害者を取り巻く現状やその抱える問題について
4. まとめ

参考及び引用文献

### ■ レポート評価の基準

---

適切な章立てを行い、各章がバランス良く記載されるように努めてください。

## 科目修了試験

### ■ 評価基準

---

- ・基本的には、科目修了試験の点数を100%として評価を行います。
- ・指定図書の中身をしっかりと学習してください。
- ・学習の際には、全体を広く学習することが大切です。
- ・学習内容は、ノートにまとめながら整理すると良いと思います。
- ・専門用語については、他の科目含め学習時の基本となるため「言葉と言葉の仕組み」をしっかり理解してください。



児童・家庭福祉			科目コード	CD2172
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
2	R or SR (講義)	1年以上	君島 昌志	



## 科目の概要

### ■科目の内容

本科目では、人権保護や権利擁護といった権利保障の捉え方をふまえて、児童家庭福祉施策の史的展開を学習していきます。具体的には、貧困家庭、要保護児童、ひとり親家庭、障害児、児童虐待対策、DV対策、社会的養護など様々な状況にある児童や家庭について支援について、法律やサービスの枠組みを体系的に学びます。

### 【スクーリングで学ぶ内容】

児童施策や児童の人権・権利保障の変遷をふまえ、多岐にわたる児童福祉の法制度の体系を学びます。また児童や家庭への支援についての実際を学びます。

### 【教科書・レポート学習で学ぶ内容】

教科書により児童家庭福祉施策について法律的、制度的枠組みを体系的に学びます。

レポート作成については、児童虐待対応などの重要施策についてはインターネットを活用して近年の現状を把握し、教科書や他の教科書、資料等を活用して、課題に対する解答を論述する。

### ■到達目標

- 1) 児童福祉や権利保障の歴史をふまえ、我が国の児童家庭施策の全体像を理解しその内容を説明することができる。
- 2) 多岐にわたる児童に関する法律や制度を把握し、社会福祉援助技術につながる知識を体系的に説明することができる。
- 3) 児童や保護者への支援の実際を理解しながら、児童福祉分野の専門職、専門機関の役割や機能を説明することができる。

### ■教科書

福祉臨床シリーズ編集委員会編『社会福祉士シリーズ 15 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度 (第4版)』弘文堂、2020年

(スクーリング時の教科書) 上記教科書は必ず持参してください。参考資料として使用します。スクーリングにあたっては、上記教科書に加えて、講義資料を配付します。

### ■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

とくに「専門的知識」「他者への関心と理解」「社会への関心と理解」「クリティカルシンキング」を身につけてほしい。

## ■科目評価基準

レポート評価 50% + スクーリング評価 or 科目修了試験 50%

## ■参考図書

- ・厚生労働統計協会編「厚生 の指標増刊 国民の福祉と介護の動向」最新号
- ・厚生労働省公式HP「子ども虐待対応の手引」  
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/dv12/00.html>

## スクーリング

### ■スクーリング留意事項

児童虐待やDVに関する事柄、養子縁組等の出自に関する解説やDVDの視聴があります。スクーリングでは無理に聴講、視聴しないようにしてください。当日、事前に事務局に伝えてください。状況によっては授業中、一時退席してもかまいません。

### ■スクーリングで学んでほしいこと

どんな時代でも必ず子どもはいました。どんな大人でも必ず子ども時代がありました。

当たり前のことなのですが、子どもの人権や権利が考えられるようになってきたのはおよそ120年前からです。人類の長い歴史、日本人の長い歴史のなかではつい最近のことといってもよいかもしれません。

この講義ではどうしても児童家庭福祉に関する法律や制度の概要を説明することが多くなりますが、そのなかで子どもの「最善の利益」とは何か、ということを常に考えながら学んでほしいと思います。最善の利益とは言い換えれば「子どもにとってどうか」「子どもにとって一番よい方法はなにか」ということです。

子どもの人権や権利をどう捉え、どう守っていくか、子どもの主体性を尊重するということがどういうことか、そのために必要な法律や制度は何か、という順番で考えてみてください。

### ■講義内容

回数	テーマ	内容
1	児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会環境 少子化問題と次世代育成支援	少子化の要因、少子化対策、子育て家庭の変容、子育ての不安、ワーク・ライフ・バランスなど
2	児童福祉の歴史（日本・欧米） 児童の定義、権利保障	我が国および諸外国における、児童に対する施策の歴史的展開、権利保障の体系
3	児童福祉の法制度（1）組織・サービス 児童福祉法	国、地方公共団体、民間福祉事業の役割と機能、児童福祉法の理念、責務、定義
4	児童福祉の法制度（2）児童虐待の実態と対策 児童福祉の法制度（3）DV防止対策	児童虐待の定義、実態、防止施策、DVの定義、実態、防止施策
5	児童福祉の法制度（4）要保護児童対策・非行少年への対応	要保護児童の実態と支援の枠組み、非行少年に対する児童福祉、少年司法
6	児童福祉の法制度（5）ひとり親家庭への支援 児童福祉の法制度（6）子どものいる貧困家庭への支援	ひとり親家庭の定義、実態、支援、貧困の定義、実態、子どものいる貧困家庭への支援
7	児童福祉の法制度（7）障害児 児童福祉の法制度（8）社会的養護の必要な児童	障害をもつ児童やその家族に対する施策、社会的養護の体系（施設・里親）
8	児童福祉の法制度（9）母子保健、子育て支援	母子保健制度の体系、子育て支援
9	スクーリング試験	

## ■講義の進め方

配付資料を中心にテキストを参考程度に使用します。  
板書はスライドを投影します。  
グループワーク、受講者どうしの対話はありません。

## ■スクーリング 評価基準

通信機器以外すべて持ち込み可とします。  
児童の権利保障の捉え方について理解を問います。  
スクーリングで学んだことと自分自身の実践や日常生活と結びつけて論じることも良しとします。

## ■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

教科書のなかで自分の興味・関心のあるところを読んできてください。

## ■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25時間）

配付された資料や教科書に目を通して、復習してください。  
レポート学習にも取り組んでください。

## レポート学習

### ■在宅学習 15のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	子どもを取り巻く社会環境	社会や子育て家庭の変容、働き方の変化	少子化社会、少子化対策の理解、男女共同参画社会の理解
2	子どもの権利保障	児童の最善の利益、受動的権利、能動的権利	権利保障の変遷、権利の捉え方の理解
3	子ども家庭福祉の発展過程	「子ども」とはなにか、保護、育成	諸国や時代による子ども観の違い
4	子ども家庭福祉の基本的な法律	児童福祉法と関連法	各法における児童の定義、目的、制定の背景
5	行政のしくみ	国と地方公共団体の役割	国の役割、都道府県、市町村の役割
6	児童福祉施設	施設の種別、目的	対象児童の状況、援助、専門職の役割
7	非行少年への対応	少年法、犯罪少年、触法少年	家庭裁判所の機能、保護処分の種類
8	障害児への支援	障害者総合支援法、手帳制度	障害の種別、サービス利用
9	子育て支援・児童健全育成	育児不安、子どもの成長・発達、保護者支援	地域子育て支援事業、児童健全育成
10	母子保健	母子保健法、子育て世代包括支援センター	母子保健法にもとづく事業、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援
11	ひとり親家庭	母子家庭、父子家庭、自立促進	母子及び父子並びに寡婦福祉法の定義
12	子どもの貧困対策	子どもの貧困対策推進法、生活保護法	相対的貧困、貧困の連鎖、学習、生活支援
13	児童虐待防止	児童虐待防止法、定義、児童福祉法	各法による定義、対応の法的根拠、児童相談所、市町村の役割、被害児童の保護
14	DV防止	DV防止法、定義、暴力のサイクル、保護命令	関係機関の対応と連携、被害者の保護
15	いじめ・不登校	いじめ防止対策推進法、スクールソーシャルワーク	いじめの現状と対応、不登校の現状と対応

## ■レポート課題

1 単位め	『客観式レポート集』記載の課題に解答してください (Web 解答可)。
2 単位め	課題名「子ども虐待の現状と対策」 日本における子ども虐待の現状とその対策について述べて。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

## ■アドバイス

### 1 単位め アドバイス

教科書をよく読み、『客観式レポート集』記載の課題に解答してください。「TFU オンデマンド」上で解答することも可能です。

### 2 単位め アドバイス

レポート作成について

- ・定義や対策の根拠となる法律を示しながらまとめてください。
- ・相談件数のデータは過去3年以内のものを引用してください。
- ・報道された事例は自分自身が強く印象に残ったものでかまいません。
- ・箇条書きではなく、考察しながら論述してください。

## 科目修了試験

### ■評価基準

- ・本科目全体の内容についての理解を問います。
- ・問題の題意に適しているかどうかを問います。
- ・解答字数は、800字以上を基準といたします。

介護論			科目コード	DD2241
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
2	R or SR (講義)	1年以上	後藤 美恵子	



## 科目の概要

### ■科目の内容

わが国における高齢者の全体像を理解し、社会保障制度である介護保険制度の創設の背景と目的を理解し、介護保険制度の見直しの背景、目的及び基本的視点について理解する。さらに、社会福祉の基本理念を踏まえた上で、人としての尊厳を重視した生活支援のあり方について専門的観点を習得すると共に、専門職としての介護理念を構築することを目的としています。

### ■到達目標

- 1) 介護を取り巻く社会的背景について説明できる。
- 2) 「介護」をどのように定義づけるのか、介護の概念について説明できる。
- 3) 介護の範囲の考え方と専門性に求められる資質について説明できる。
- 4) 介護過程の仕組みについて説明できる。
- 5) 認知症の原因と症状を踏まえ、認知症高齢者の対応方法について説明できる。
- 6) 高齢者の終末期の特徴とケアのあり方について説明できる。

### ■教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座 13 高齢者に対する支援と介護保険制度 (第6版)』  
中央法規出版、2019年 (第5～7、11、12、14、15章)  
(スクーリング時の教科書) 上記教科書を参考程度に使用します。

### ■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

とくに「専門的知識」「他者への関心と理解」「社会への関心と理解」「アセスメント力」「問題解決力」「社会貢献力」を身につけてほしい。

### ■科目評価基準

レポート評価 60% + スクーリング評価 or 科目修了試験 40%

### ■参考図書

- 1) 老人保健福祉法制研究会編『高齢者の尊厳を支える介護』法研、2003年
- 2) 介護支援専門員テキスト編集委員会編『改訂 介護支援専門員 基本テキスト』長寿社会開発センター、2004年
- 3) 西村洋子著『介護福祉論』誠信書房、2005年

## スクーリング

### ■スクーリングで学んでほしいこと

わが国における高齢化社会における介護の社会的背景を理解し、現代社会における高齢者の人生を支える上での重要となる介護の概念、さらに、社会福祉の基本理念を踏まえた上で、人としての尊厳を重視した高齢期の生活支援のあり方についての理解を深化させ、介護とは何か、その本質を再考する。

### ■講義内容

回数	テーマ	内容
1	社会的背景	介護の社会的背景
2	介護の概念	介護の概念と生活支援
3	介護の専門性	介護の範囲と専門性
4	介護課程	ケアマネジメントにおける介護過程
5	認知症高齢者①	基本症状と BPSD
6	認知症高齢者②	認知症高齢者の理解と支援
7	終末期ケア	高齢者の終末期の特徴とケア
8	まとめ	
9	スクーリング試験	

※オンデマンド・スクーリング、ビデオ・スクーリングでは、上記の講義内容と異なる場合があります。

### ■講義の進め方

パワーポイントと配付資料をもとに講義を進める。

### ■スクーリング 評価基準

授業への参加状況 20% + スクーリング試験 80% (持込可)

試験は単なる知識の確認ではなく、スクーリングで学んだ内容を踏まえた上で、試験課題に沿って自身の見解をどれだけ論述できるかを問います。

### ■スクーリング事前学習 (学習時間の目安: 5~10 時間)

『高齢者に対する支援と介護保険制度』の第1章「高齢者の特性」の中の第1節「高齢者の社会的理解」・第3節「高齢者の精神的理解」、第2章「少子高齢社会と高齢者」、第11章「介護の概念や対象」、第12章「介護過程」、第14章「介護各論②」の中の第1節「認知症ケア」第2節「終末期ケア」をスクーリング受講前に読んでおいてください。

## レポート学習

### ■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
1	介護保険制度の基本的枠組み  介護保険制度の全体像 (第5章第1節)	介護保険制度のサービスの申請から利用までの流れ、介護保険サービス、介護保険制度の財源構成について理解する。  キーワード：要介護認定、居宅サービス、地域密着型サービス、施設サービス、公費、保険料	・介護保険制度のサービスの申請から利用までの流れについて理解し、説明できるようにしましょう。 ・介護保険サービスの3つの区分について理解し、説明できるようにしましょう。 ・介護保険制度の財源の公費、保険料の構成について理解し、説明できるようにしましょう。
2	介護保険制度の目的と理念 (第5章第2節)	介護保険制度の創設、制度の目的、理念について理解する。また、介護保険法改正の背景と方向性を理解する。  キーワード：介護保険制度の創設、介護保険制度の目的・理念、介護保険法改正	・介護保険制度の創設、制度の目的、理念について理解し、説明できるようにしましょう。 ・介護保険法改正の背景と方向性を理解し、説明できるようにしましょう。
3	保険財政 (第5章第3節) 保険者と被保険者 (第5章第4節)	・介護保険の費用負担構造、財政安定化基金について理解する。 ・保険者、被保険者について理解する。  キーワード：調整交付金、地域支援事業、介護予防事業、包括的支援事業、介護予防・日常生活支援総合事業、財政安定化基金、民間保険、社会保険、介護保険特別会計、広域連合、第1号被保険者、第2号被保険者	・介護保険の費用負担構造、財政安定化基金、保険者、被保険者について理解し、説明できるようにしましょう。
4	介護保険制度の仕組み  要介護認定の仕組みとプロセス (第6章第1節)	介護保険給付の対象者、要介護（要支援）認定のプロセスについて理解する。  キーワード：要介護状態、要支援状態、第2号被保険者の特定疾病、要介護（要支援）認定申請、認定調査と一次判定、主治医意見書、介護認定審査会、介護保険審査会	・介護保険給付の対象者、要介護（要支援）認定のプロセスについて理解し、説明できるようにしましょう。
5	保険給付 (第6章第2節) 介護報酬 (第6章第3節)	・介護給付・予防給付・市町村特別給付、指定サービスと特例サービスについて理解する。 ・介護報酬について理解する。  キーワード：介護給付、予防給付、市町村特別給付、指定サービス、特例サービス、介護報酬	・介護給付・予防給付・市町村特別給付、指定サービスと特例サービス、介護報酬について理解し、説明できるようにしましょう。
6	地域支援事業 (第6章第4節) 介護保険事業計画 (第6章第5節)	・地域支援事業創設の背景、地域支援事業の内容、地域包括支援センターについて理解する。 ・介護保険事業計画として、厚生労働大臣が定める基本指針、市町村介護保険事業計画、都道府県介護保険事業支援計画を理解する。  キーワード：地域支援事業、地域包括支援センター、介護保険事業計画	・地域支援事業創設の背景、地域支援事業の内容、地域包括支援センターについて理解し、説明できるようにしましょう。 ・介護保険事業計画として、厚生労働大臣が定める基本指針、市町村介護保険事業計画、都道府県介護保険事業支援計画を理解し、説明できるようにしましょう。

7	サービスの質を確保するための仕組み (第6章第6節)	サービスの質を確保するための仕組みとして、介護サービス情報公表、苦情への対応、介護保険審査会について理解する。  キーワード：介護サービス情報の公表、苦情対応、介護保険審査会	・サービスの質を確保するための仕組みとして、介護サービス情報公表、苦情への対応、介護保険審査会について理解し、説明できるようにしましょう。
8	介護保険サービスの体系  介護保険サービスにおける専門職の役割と実際 (第7章第1節)	介護保険サービスにおける専門職として、介護支援専門員、訪問介護員、介護職員、その他（社会福祉士、看護師、理学療法士等）の役割について理解する。  キーワード：介護支援専門員、訪問介護員、介護職員、専門職	・介護保険サービスにおける専門職として、介護支援専門員、訪問介護員、介護職員、その他（社会福祉士、看護師、理学療法士等）の役割について理解し、説明できるようにしましょう。
9	居宅サービス (第7章第2節)	居宅サービス、住宅改修サービス、居宅介護支援の種類と内容について理解する。  キーワード：居宅サービス、住宅改修サービス、居宅介護支援	・居宅サービス、住宅改修サービス、居宅介護支援の種類と内容について理解し、説明できるようにしましょう。
10	施設サービス (第7章第3節)	施設サービスの種類と内容について理解する。  キーワード：施設サービス	・施設サービスの種類と内容について理解し、説明できるようにしましょう。
11		介護予防、介護予防サービス（予防給付）、介護予防住宅改修サービス、介護予防支援について理解する。  キーワード：介護予防サービス（予防給付）、介護予防住宅改修サービス、介護予防支援	・介護予防、介護予防サービス（予防給付）、介護予防住宅改修サービス、介護予防支援について理解し、説明できるようにしましょう。
12	地域密着型サービス (第7章第5節)	地域密着型サービスの種類と内容について理解する。  キーワード：地域密着型サービス	・地域密着型サービスの種類と内容について理解し、説明できるようにしましょう。
13	介護の概念や対象  介護の概念と範囲 (第11章第1節)  介護の理念 (第11章第2節)	・介護の概念と範囲、介護の実践構造（専門性）について理解する。 ・介護の専門性を支える理念と価値、目的価値、手段的価値、専門職倫理について理解する。  キーワード：介護実践構造、介護の理念	・介護の概念と範囲、介護の実践構造（専門性）について理解し、説明できるようにしましょう。 ・介護の専門性を支える理念と価値、目的価値、手段的価値、専門職倫理について理解し、説明できるようにしましょう。
14	介護の対象 (第11章第3節) 介護予防の概念 (第11章第4節)	・介護の対象者、利用者、生活と家族支援、介護活動の場について理解する。 ・介護保険制度の改正と介護予防について理解する。  キーワード：介護の対象者、家族支援、介護活動の場、介護予防	・介護の対象者、利用者、生活と家族支援、介護活動の場について理解し、説明できるようにしましょう。 ・介護保険制度の改正と介護予防について理解し、説明できるようにしましょう。
15	介護人材確保対策 (第11章第5節)	介護保険制度の動向として、介護人材の確保、2025年の高齢者介護、地域包括ケアシステムについて理解する。  キーワード：介護人材確保、2025年の高齢者介護、団塊の世代、地域包括ケアシステム	・介護保険制度の動向として、介護人材の確保、2025年の高齢者介護、地域包括ケアシステムについて理解し、説明できるようにしましょう。

## ■レポート課題

1 単位め	『客観式レポート集』記載の課題に解答してください (Web 解答可)。
2 単位め	介護保険制度までの高齢者福祉制度の発展過程を踏まえ、介護保険制度の概要について整理し、その課題について自身の考えを具体的に論述しなさい。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

## ■アドバイス

### 1 単位め アドバイス

教科書をよく読み、『客観式レポート集』記載の課題に解答してください。「TFU オンデマンド」上で解答することも可能です。

### 2 単位め アドバイス

介護保険制度の施行は、従前の老人福祉のあり方を、根本から変更させたといえます。テキスト第3章「高齢者保健福祉の発展」第4章「高齢者支援の関係法規」を参考に高齢者福祉制度の発展過程を踏まえた上で、第5章「介護保険制度の基本的枠組み」の介護保険制度の概要を整理してください。さらに、現行の介護保険制度の課題を自身がどのように捉えたのか、今後の介護保険制度の展望を視野において具体的にまとめてください。

論術式レポート作成に当たっては、テキスト、参考文献等の内容を踏まえて自身の考えを書いてください。

## 科目修了試験

### ■評価基準

- 1) 出題された課題の内容について理解できているか。
- 2) 課題に対する解答が指定のテキストの内容を踏まえているか。
- 3) テキストの内容を踏まえて、課題に対する自身の視点で考察がされている。
- 4) 記述の分量が、800 字程度以上書かれているか。



## レポート学習に向けて

通信教育で学ぶことを決意されたみなさまは、多くの本を読み、知識として得たこと、自ら考えたことを「レポート」という形にまとめていくことが、これからの学習活動の中心になります。

この『レポート課題集』は、一般の大学の授業と同じ働きをするものです。その科目で何を学んでほしいかの「科目の内容」、レポート課題に取り組むにあたっての「アドバイス」などには、担当の先生方からみなさまへのメッセージが込められています。

今後学習を進めていくなかで、時には本の内容がまったく頭に入らなかったり、レポート用紙を前に何を書けばよいかとまどったりすることがあるかもしれません。そんなときは、ちょっと一休みしたあと、この『レポート課題集』のなかにある担当の先生方からのアドバイスをもう一度読んで、取り組みやすそうな課題から再び学習を始めてください。

学問って難しそうに感じることもありますが、人間が考えたことです。必ず理解できるはずです。どうしてもわからないときは、「質問票」を使って担当の先生に質問をすることもできます。

みなさまがこの『レポート課題集』を存分に活用し、学習を順調に進めていかれることを願っています。



## レポート課題集 2021 1 年次入学者用

---

2021 年 2 月 18 日 初版発行

発行 東北福祉大学通信教育部

〒983-8511 仙台市宮城野区榴岡 2-5-26

電話 022-233-2211 <http://www.tfu.ac.jp/tushin>

---

©Tohoku Fukushi University 2020 Printed in Japan

本書の一部または全部を無断で複写複製（コピー）することは、著作権法上の例外を除き、禁じられています。



東北福祉大学 通信教育部  
TOHOKU FUKUSHI UNIVERSITY